



「VOID - 通路あるいは音として -」 ギャラリーノマル、大阪（展示風景）Ⅱ 2011

Shizubi Project 3

わたしたちの死としてのキノコ・今村源

Symbiosis: Dissolving My Self Like a Mushroom | Hajime Imamura

2013年8月6日[火] — 10月27日[日] 入場無料

会場 静岡市美術館 エントランスホール 開館時間 10:00 — 19:00

休館日 月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館。ただし8月12日[月]は臨時開館、9月13日[金]は臨時休館）

主催 静岡市美術館 指定管理者（公財）静岡市文化振興財団 協賛 SHI/EIDO 協力 Gallery Nomart



静岡市美術館

SHIZUOKA CITY MUSEUM of ART

〒420-0852 静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー3F
tel. 054-273-1515（代表） www.shizubi.jp

JR静岡駅前にある静岡市美術館は、誰もが気軽に立ち寄れる“街のなかの広場”のような美術館を目指しています。Shizubi Projectでは、多くの人が行きかうエントランスホールの開放的な空間を活かして、現代のさまざまな美術の姿をご紹介します。

第3回目となる今回は、美術家・今村源（1957～）を取り上げます。

今村は、針金や紙などおよそ彫刻らしからぬ素材で、浮遊感溢れる「彫刻」を作ってきました。それどころか、椅子や机、バケツや冷蔵庫など身近な日用品も、一見ささやかに、しかし驚くほど精緻に手を加えられ、魔法をかけられて作品世界に登場します。

今村はまた、森の地下に菌糸を張り巡らし、ときおり地上に姿を顕す「キノコ」の世界に、深い関心を寄せてきました。私たちには見えない世界で、しかし確実に世界と共生し、世界を支えている「キノコ」。そんな「キノコ」の姿に、今村の思索は、私（個）を超えて連綿と続く生命の営みにまで広がります。

キノコ、わたし、そして魔法をかけられ「伸びやかな物質の夢」にみちた日用品たちが、天井高6mのエントランスホールに浮遊し、共生する世界をお楽しみください。



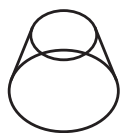
サカサヒト 2003 石膏、鉄



レイゾウコとヤカン 2003 冷蔵庫 ヤカン ステンレス針金

〈公式カタログ〉今村源作品集 9月上旬赤々舎より刊行予定

【プレスリリースのお問い合わせ】 担当：伊藤、以倉 広報担当：青木、大庭



静岡市美術館
SHIZUOKA CITY MUSEUM of ART

〒420-0852 静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー3F
tel. 054-273-1515（代表） www.shizubi.jp

夜7時まで開館

|| 関連イベント ||

① 記念対談 & ライブ

9月1日[日]

第1部 記念対談 14:00 - 15:30 [開場 13:30]

対談者 || 今村源 [美術家]

建畠哲 [京都市立芸術大学学長]

司 会 || 以倉新 [静岡市美術館学芸課長]

会 場 || 当館多目的室

第2部 記念ライブ 16:00 - 17:00

出 演 || .es [ドットエス]

橋本孝之 (サクソ、ギター、ハーモニカ、改造尺八等) と sara (ピアノ、パーカッション、ダンス他) の二人の即興演奏家による
コンテンポラリー・ミュージック・ユニット。

会 場 || 当館エントランスホール

参加料 || 無料

対 象 || どなたでも50名 申込不要 (当日直接会場へお越しください)

エントランスに浮かぶ
巨大キノコを演奏します!



.es

② 作品集刊行記念対談 / 静岡・音楽館 × 科学館 × 美術館 共同事業

ミュージアム・カフェ・トーク「キノコの教え」

9月21日[土] 14:00 - 16:00 [開場 13:30]

対談者 || 今村源 [美術家]

小川真 [農学博士・菌類学 / 元森林総合研究所キノコ科長]

司 会 || 以倉新 [静岡市美術館学芸課長]

会 場 || 当館多目的室

参加料 || 無料

対 象 || どなたでも50名 申込不要 (当日直接会場へお越しください)



今村源



小川真

1937年京都生まれ。京都大学大学院農学研究科修了、農学博士。専攻は菌類学。森林総合研究所土壌微生物研究室長、同きのこ科長、関西総合テクノス生物環境研究所を経て、大阪工業大学客員教授などを歴任。日本菌学会教育文化賞、日本林学賞、ユフロ (国際林業研究機関連合) 学術賞、日経地球環境技術賞、日本菌学会教育文化賞、愛・地球賞 (愛知万博) などを受賞。著書に『キノコの教え』(岩波新書)、『菌と世界の森林再生』『炭と菌根でよみがえる松』(築地書館)、訳書にG. C. エインズワース『キノコ・カビの研究史 — 人が菌類を知るまで』(京都大学学術出版会)、ニコラス・マナー『ふしぎな生きものカビ・キノコ 菌学入門』(築地書館)ほか多数。現在、「白砂青松再生の会」会長として、炭と菌根による松林再生ノウハウを伝授するため、全国を行脚している。

③ 今村源 アーティストトーク

8月7日[水] 11:30 - [30分程度]

ゲスト || 建畠哲 [京都市立芸術大学学長]

会 場 || 当館エントランスホール

参加料 || 無料 申込不要 (当日直接会場へお越しください)



シダとなる(部分) || 2005 || ミクストメディア

今村源 (いまむらはじめ)

1957 大阪府生まれ

1983 京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了

○近年の主な個展

- 2006 「三つの個展：伊藤存×今村源×須田悦弘」国立国際美術館、大阪
- 「連菌術 Over the Ground, Under the Ground」伊丹市立美術館、兵庫
- 2009 「茸の熟考 水都大阪2009」水都アート回廊(適塾)、大阪
- 2011 「VOID 一通路あるいは音として」ギャラリーノマル、大阪
- 2013 「世界と孤独 Vol.5 今村源」高島屋美術館X、東京

○主なグループ展

- 2001 「life/art'01 (以降'05まで毎年参加)」資生堂ギャラリー、東京
- 2004 「六本木クロッシング：日本美術の新しい展望2004」森美術館、東京
- 2012 「越後妻有トリエンナーレ2012」(京都精華大学カレキマタプロジェクト)、新潟
- 2007 中原悌二郎賞優秀賞受賞
- 現京都府在住

|| 開催中の展覧会 || 「オディロン・ルドン 夢の起源 幻想のふるさと、ボルドーから」 6月29日[土] - 8月25日[日]

「はじめての美術 絵本原画の世界2013」 9月14日[土] - 10月27日[日]